

都市再生整備計画 事後評価シート
瀬戸まちなか地区

令和2年3月

愛知県瀬戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	瀬戸市		地区名	瀬戸まちなか地区(地方都市リノベーション事業)			面積	314ha																																				
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	2,716万円	国費率	0.5																																						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		<table border="1"> <tr> <th colspan="12">事業名</th> </tr> <tr> <td colspan="2">基幹事業</td> <td colspan="10">水野駅北口交通広場整備事業、防災倉庫整備事業、地域交流センター整備事業、公立陶生病院新棟建設事業、こはん南保育園整備事業</td> </tr> <tr> <td colspan="2">提案事業</td> <td colspan="10"></td> </tr> </table>									事業名												基幹事業		水野駅北口交通広場整備事業、防災倉庫整備事業、地域交流センター整備事業、公立陶生病院新棟建設事業、こはん南保育園整備事業										提案事業											
	事業名																																														
	基幹事業		水野駅北口交通広場整備事業、防災倉庫整備事業、地域交流センター整備事業、公立陶生病院新棟建設事業、こはん南保育園整備事業																																												
	提案事業																																														
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響																																						
			道路(市道効範山手線)		鉄道事業者による改札口整備や踏切拡張が行われるようになったことなどの状況の変化により、より効果的な事業となるよう本次計画以降に駅前交通広場整備事業に内包し、駅前交通広場とともに一体的に整備するものとしたため、H29年度に事業を削除した。				事業の削除により指標への影響が考えられるが、本計画期間内にコミュニケーションやダイヤの改正等、指標の向上に繋がる取り組みを行っていることから、現指標値については、据え置くものとする。																																						
			地域生活基盤施設(瀬戸駅前広場)		市の中心に位置する駅として、都市機能の集約や居住誘導を図っていくための拠点として、交通結節点のあり方や誘導すべき都市機能を明らかにしたうえで次期計画以降に整備する方針としたため、H29年度に事業を削除した。				事業の削除により指標への影響が考えられるが、本計画期間内にコミュニケーションやダイヤの改正等、指標の向上に繋がる取り組みを行っていることから、現指標値については、据え置くものとする。																																						
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(防災広場)		陶生病院新棟建設後に実施する旧棟の解体工事後の跡地に整備する予定であったが、跡地については平常時には駐車場として利用し、災害発生時には防災空地として活用する方針に変更したため、H29年度に事業を削除した。				大規模災害の際には防災空地として機能し、当初の計画どおり円滑な医療業務の提供を行う場所として使用するため、効果に変更はなく指標への影響は生じない。																																						
			提案事業	—		—				—																																					
	交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				—																																						
変更	なし																																														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																																		
	指標1	地区内人口	人	28,262	H23	28,560	H30	—	27,462	△	あり	・中心市街地への都市機能の集約と充実が進んだことにより居住地としての魅力が向上し、社会増が増え、人口に下げ止まりが見えている。 ・しかし毎年100人程の自然減があり目標の達成には至らなかった。	—																																		
	指標2	移動しやすい環境整備	%	44.9	H24	50.0	H28	—	—	—	あり	・総合計画移行に伴う設問内容の変更により、従前値との比較は難しいが、H28年度とH1年度の第4次総合計画に係る市民アンケート調査では道路環境、公共交通の両方で満足度が改善されている。 (平均:H28:36.4%⇒H1:36.9%) ・しかし、今後は南北動線をはじめとする道路の改善やコミュニティバスの利便性向上等に取組んでいく必要がある。	—																																		
	指標3	安心・安全な住環境整備	人	476	H24	526	H28	—	803	○	あり	・中心市街地への都市機能の集約と充実が進み、安心・安全な住環境整備が形成されてきたことにより、市民活動が活発になった。 ・効範公民館と遠泉地域交流センターを集約対象とし、高齢化率が比較的低い効範地区にある効範公民館で生涯学習講座の講座数、参加人数が大きく増加した。 ・また、生涯学習講座以外にも子育て支援等の市民活動が増加している。	—																																		
	指標4	住みやすさの評価	%	75.4	H23	80.0	H28	—	77.6	△	あり	・公園や子育て・教育環境に対する評価が大きく上昇しており、住みやすさの評価の向上につながったと考えられるが、交通環境や市民活動の場の確保等、今回の計画事業では対応しきれなかった課題もあり、今後多方面からの対策が必要となる。	—																																		
	指標5	交通結節点の機能強化	台/日	40	H26	0	H28	—	17	△	あり	・社会資本総合整備計画で実施された後計をもとに水野駅北口駅構内が整備されたため、駐輪可能数が増加し、遊歩道が減少したが、駐輪マナーの問題で目標値は達成できなかった。	—																																		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																																		
	その他の数値指標1	地区内人口の社会増減数	人	-183	H23	/	/	—	91	/	あり	・中心市街地への都市機能の集約と充実が進んだことにより居住地としての魅力が向上し、社会増が増加傾向となっている。 ・市内外の「転出入」では転出超過となっているが、市内からの「転居」では人口が増え、増加数も大きく増えている。 ・市外への転出についても平成27年度以降回復傾向にある。	—																																		
	その他の数値指標2	子育て環境への安心感	%	—	—	/	/	—	72.5	/	あり	・保育園や病院などが整備され、中心市街地の子育て環境が向上したため、実際に子育てを行っている世帯の評価が全体の評価より高まっている。 ※評価値は、保護者などの実際に子育てに携わる世代を対象とした「瀬戸市子ども総合計画」づくりのためのアンケート調査(H30)における「瀬戸市は、安心して子どもを育てられる環境にあると思いますか」という設問に対して「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と評価した割合、20歳以上30歳未満の市民を対象とした総合計画に係る市民アンケート調査の同じ設問に対する評価は平成20年度:49.0%、平成23年度:52.7%、平成26年度:52.2%だった。	—																																		
	その他の数値指標3					/	/																																								
4)定性的な効果発現状況	公立陶生病院が毎年度実施しているアンケート調査で、新棟運用開始前の平成29年度と運用開始後の平成30年度の調査を比較して「陶生病院を親しい方にするようと思う」という方の割合が上昇した。また、外来患者を対象とした「待合設備・雰囲気」、「診察室・検査室の設備・雰囲気」、「トイレの設備・清掃状況」、「案内看板・表示」や入院患者を対象とした「病棟内の設備」、「病室の居心地」、「掲示・案内のわかりやすさ」といった設問でも満足度が向上しており、新棟建設の効果があったものと考えられる。																																														
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等																																			
	モニタリング		<table border="1"> <tr> <td>都市再生整備計画に記載し、実施できた</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</td> <td></td> </tr> </table>									都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																															
	都市再生整備計画に記載し、実施できた																																														
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																																															
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																																															
住民参加プロセス	こはん南保育園の移設・民営化に関する地元説明会・保護者説明会・保護者アンケート	<table border="1"> <tr> <td>都市再生整備計画に記載し、実施できた</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</td> <td>●</td> </tr> </table>									都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	事業は完了しているため今後の説明会等は予定していないが、保護者や地元住民からの意見を継続的に受け、保育サービスや居住環境の向上に努めている。																														
都市再生整備計画に記載し、実施できた																																															
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																																															
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●																																														
持続的なまちづくり体制の構築		<table border="1"> <tr> <td>都市再生整備計画に記載し、実施できた</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</td> <td></td> </tr> </table>									都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																																
都市再生整備計画に記載し、実施できた																																															
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した																																															
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																																															

様式2-2 地区の概要

瀬戸まちなか地区(愛知県瀬戸市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: まちなか地区の多様な都市機能の集約と充実により、安心・安全で住みやすい都市を形成する。 目標1: 中心市街地における都市機能の集約と充実 目標2: 移動しやすく住みやすい街づくり 目標3: 安心・安全な環境整備	地区内人口	単位: 人	28,262	H24	28,560	H30	27,462	H30
	移動しやすい環境整備	単位: %	44.9	H24	50.0	H30	—	R1
	安心・安全な住環境整備	単位: 人	476	H24	526	H30	803	H30
	住みやすさの評価	単位: %	75.4	H23	80.0	H30	77.6	R1
	交通結節点の機能強化	単位: 台/日	40	H28	0	H30	17	R1

■ 地方都市リノベーション推進施設
 こほう南保育園整備事業
 公立陶生病院新棟建設事業

○ 関連事業
 図書館施設安全安心対策事業
 児童遊園等環境整備事業

■ 地域生活基盤施設(広場)
 水野駅北口交通広場整備事業

○ 関連事業
 バリアフリー基本構想作成事業

○ 関連事業
 福祉保健センター(やすらぎ会館)施設整備事業

■ 地域生活基盤施設(地域防災)
 防災倉庫整備事業

■ 高次都市施設
 地域交流センター整備事業

○ 関連事業
 文化センター施設整備事業
 瀬戸サイト跡地活用事業

こほう南保育園整備事業 (アートチャイルドケア瀬戸南山保育園)

公立陶生病院新棟建設事業 (公立陶生病院東棟)

水野駅北口交通広場整備事業 ※計画に位置付けて行った基本設計をもとに、市単費で北口駐輪場を整備

防災倉庫整備事業

まちの課題の変化

瀬戸まちなか地区への多様な都市機能の集約と充実が進んだことで、公共施設の適正再配置や安心・安全が実感できる社会インフラの充実・強化、超高齢化社会に対応した社会インフラの再整備などが達成され、人口減少の下げ止まりや迷惑駐輪の解消による移動しやすさの向上、市民活動の活性化、住みやすさや子育て環境に対する満足度の向上につながった。
 しかし、安心・安全で住みやすい都市を形成するためには今後も継続してコンパクトな都市構造への転換を推進していく必要がある。その上では公共施設等総合管理計画や今後策定する立地適正化計画の方針との整合を図りつつ、瀬戸まちなか地区の拠点形成の方針を明らかにした上で事業を行っていく必要がある。
 ・公共施設の適正再配置や学校跡地等の既存ストックの活用等を行いながら、瀬戸まちなか地区東側の道楽連区や深川連区等は西側に比べて人口減少・高齢化が進んでいるなどの各地区の地域特性を踏まえ、まちづくりを進めていく必要がある。
 ・また、南北動線をはじめとする道路環境やコミュニティバスの運行、交通結節点である駅周辺の交通環境についても改善に取り組んでいく必要がある。さらに、瀬戸まちなか地区と郊外の魅力的な拠点の連携を強め、住む人にとっても観光で訪れる人にとっても魅力的なまちづくりを目指していく必要がある。
 ・この他、市民活動が活性化している中で、更なる活性化を図るためには、地域に埋もれた場所の活用も含め、自治会等と連携して支援していく必要がある。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

○瀬戸まちなか地区における拠点形成
 ・コンパクトな都市構造への転換を推進する中で、公共施設等総合管理計画や、今後策定する立地適正化計画の方針との整合を図りつつ、瀬戸まちなか地区の拠点形成の方針を明らかにし、居住や都市機能の誘導、交通結節点の改善等を進めていく。
 ・瀬戸まちなか地区における各地域の特性を踏まえながら、既存ストック等の活用も視野に入れた都市機能の集約と充実を図っていく。
 ○交通環境の改善と拠点間連携
 ・交通結節点として駅周辺の機能強化を図るとともに、拠点間を結ぶ道路ネットワークやコミュニティバスの運行についても改善に取り組んでいく。
 ・瀬戸まちなか地区と郊外の魅力的な拠点とのネットワークを形成し、住んでいる人にとっても観光に訪れる人にとっても魅力的なまちづくりを進めていく。
 ○市民活動の支援
 ・市民活動の活性化や活動場所の確保等に向け、自治会等と連携して取り組みを行っていく。